

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スタサボ真面校			
○保護者評価実施期間	2024年4月1日 ～ 2025年3月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61名	(回答者数)	45名
○従業者評価実施期間	2024年4月1日 ～ 2025年3月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年5月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・8つの知能に基づいたSST、運動療育、ロボットプログラミングの3つの療育内容の展開	1つの事業所で3つの内容の療育を行っているため、様々な視点からの支援を行うことができる。また8つの知能に基づいたその時々に沿ったプログラムを毎月職員間で策案を行っている。	より一人ひとりのお子さまに寄り添った療育支援をご提供できるようにスキルを向上させていく。
2	・研修の充実	虐待、感染症、支援の記録の仕方、パソコン操作スキルに伴うExcel研修など、多岐にわたる内容の研修を実施している。	研修を実践に生かすことができているかを評価し、より必要な知識やスキルに特化した研修を実施することを検討している。
3	・質の高い支援の提供。	個々のお子さま、保護者さまのニーズや必要性に応じて、専門的支援実施計画書を作成し、支援を行っている。	今後も引き続き実施を継続していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会を設けていない。	事業所のイベントが利用者向けに行っているものしか開催してこなかったため。	事業所側が地域の行事に参加することで事業などを理解してもらえる機会を検討していく。
2	・きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援を行なえていない。	保護者向けに子育てカレッジなどの開催は行ってきたがきょうだい同士で交流する機会は開催できなかったため。	家族で参加できるような講座などを開催できるよう検討していく。
3	・事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図れていない。	事業所のイベントが利用者向けに行っているものしか開催してこなかったため。	事業所内を開放して自由に地域の方を招待することについては、十分な広さを確保できず実施が困難であることから、地域の行事に職員が参加して事業などを理解してもらえる機会を検討していく。